



## 2024年9月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年8月2日

上場会社名 株式会社FOOD & LIFE COMPANIES 上場取引所 東  
 コード番号 3563 URL https://www.food-and-life.co.jp/  
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）水留 浩一  
 問合せ先責任者（役職名）執行役員（氏名）吉田 剛（TEL）06-6368-1001  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満四捨五入）

## 1. 2024年9月期第3四半期の連結業績（2023年10月1日～2024年6月30日）

## （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第3四半期	264,667	20.9	17,341	118.6	16,387	127.5	10,918	85.0	10,371	82.8	12,610	108.0
2023年9月期第3四半期	218,914	3.3	7,933	△35.9	7,204	△29.2	5,902	12.4	5,672	8.1	6,062	△14.4

  

	調整後EBITDA		基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	百万円	%	円 銭		円 銭	
2024年9月期第3四半期	27,403	55.3	89.89		89.02	
2023年9月期第3四半期	17,646	△18.8	49.03		48.66	

## （2）連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分		親会社所有者 帰属持分比率	
	百万円		百万円		百万円		%	
2024年9月期第3四半期	360,310		75,599		74,614		20.2	
2023年9月期	351,619		72,659		72,268		20.1	

（注）2023年9月期については、IAS第12号（改訂）「法人所得税」遡及適用後の数値を記載しております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭				
2023年9月期	—	0.00	—	22.50	22.50
2024年9月期	—	0.00	—	—	—
2024年9月期(予想)	—	—	—	22.50	22.50

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		調整後EBITDA		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	360,000	19.3	36,000	40.3	22,000	100.0	13,000	64.6	112.36	

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有  
 新規 2社 (社名) 北京寿司郎餐飲有限公司  
 SUSHIRO MALAYSIA SDN. BHD.

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更  
 ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年9月期3Q	116,069,184株	2023年9月期	116,069,184株
② 期末自己株式数	2024年9月期3Q	2,945,722株	2023年9月期	382,884株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年9月期3Q	115,374,194株	2023年9月期3Q	115,679,653株

(4) 各種指標の算式

指標	算式
調整後EBITDA	営業利益+減価償却費及び償却費(使用権資産の減価償却費を除く)+減損損失

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	7
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報)	10
(販売費及び一般管理費)	12
(1株当たり利益)	12
(重要な後発事象)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、2023年5月に新型コロナウイルス感染症が5類へ移行され、人の動きに回復がみられる一方で、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化に伴い資源価格が高騰しているのみならず、円安が進行しており、様々な物価が高騰し、先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましても、同様にロシアによるウクライナ侵攻の長期化に伴う資源価格の高騰や円安の進行、様々な物価の高騰、人件費の上昇等により引き続き厳しい状況になっております。

このような状況の中、当社グループでは、「変えよう、毎日の美味しさを。広めよう、世界に喜びを。」をVISIONとして、日々の食を美味しくすることで、お客様の生活や人生までゆたかにしたいという願いに向けて、商品開発、店内調理、安心・安全の取り組み及びサービスの向上に取り組んでまいりました。

また、業態別店舗数は以下のとおりであります。

[当社グループ業態別店舗数]

業態名	前連結会計年度末	出店実績	閉店実績	当第3四半期連結会計期間末
国内：スシローブランド (テイクアウト専門店)	653(12)	11	11(3)	653(9)
国内：杉玉ブランド(FC)	79(17)	9(3)	6(5)	82(15)
国内：京樽ブランド	137(－)	3	19	121(－)
国内：回転寿司みさき・ 三崎丸ブランド	95(－)	－	2	93(－)
国内：その他ブランド	22(－)	1	2	21(－)
国内合計	986(29)	24(3)	40(8)	970(24)
海外：スシローブランド (テイクアウト専門店)	132(－)	27	－	159(－)
海外：その他ブランド	5(－)	4	1	8(－)
海外合計	137(－)	31	1	167(－)
国内外合計	1,123(29)	55(3)	41(8)	1,137(24)

( ) 内は内数でテイクアウト専門店・FCの店舗数

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上収益264,667百万円（前年同期比20.9%増）、営業利益17,341百万円（前年同期比118.6%増）、税引前四半期利益16,387百万円（前年同期比127.5%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益10,371百万円（前年同期比82.8%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(国内スシロー事業)

GO!スシロー40周年「一緒に行こか、回転すしの一步先へ。」をテーマに、お客様への感謝の想いを還元できるようなフェアと新規顧客獲得に向けたIPコラボを積極的に実施しました。6月下旬には、より多くのお客様にご利用いただくために「お会計5%OFFクーポン」を発行、また、「大大大大感謝のGW得ネタ祭【第一弾】」では、人気の高い「本鮪赤身」や「いくら」、「年に一度の超恩返し!2024スシローの日[第二弾]」もひとつ!感謝祭では、「中トロ+まぐろ」を1皿税込100円でご提供し、お客様に大変ご好評をいただきました。人気キャラクター「推しの子」とのコラボでは、コラボ限定グッズ付きのスイーツやおすしを販売しました。

また、昨年9月より新たな取り組みとして3店舗に「デジタルスシロービジョン」、通称「デジロー」を導入し、トライアル運用を実施した結果、客数、客単価、顧客満足度等に向上効果が確認された為、新たに16店舗への「デジロー」の導入を、今期末までに完了する計画を進めております。

以上の結果、国内スシロー事業の売上収益は175,570百万円（前年同期比17.3%増）、セグメント利益は10,399百万円（前年同期比280.9%増）となりました。

## (海外スシロー事業)

中国大陸では経済低迷の影響を踏まえ厳選出店に切り替え+8店舗(天津含む)、その他アジア地域では順調に拡大を継続しました。また、4月には、北米にも「その他ブランド」で1店舗オープンしました。5月には中国大陸の天津にオープンし、オープン直後に1か月先までの予約が埋まるなど順調な滑り出しとなりました。その他の地域では、台湾+4店舗、香港+4店舗、シンガポール+1店舗、タイ+8店舗、インドネシア+2店舗と、新規出店を順調に継続しております。

また、来店客数の維持・拡大に向けて、魅力的な販促・マーケティング施策を各地域で実施しており、シンガポールでは「てんこ盛り」「うにまぐろ」を実施し、インパクトのある山盛りのおすしや人気が高いまぐろを多くのお客様にご堪能いただきました。創業6周年を迎えたタイでは「創業祭」を実施し、赤酢を使用したおすしなどを提供しました。

以上の結果、海外スシロー事業の売上収益は65,954百万円(前年同期比40.5%増)、セグメント利益は5,077百万円(前年同期比23.0%増)となりました。

## (京樽事業)

京樽ブランドでは、不採算店舗を戦略的に閉店し厳選出店に切り替えることにより、収益性の改善に努めるとともに、毎回のお買い物がより楽しくなる販促や、ECサイトでの冷凍寿司や常温寿司の販売を継続的に実施いたしました。第3四半期会計期間においては、穴子が倍量の穴子鮭など、お値打ち感のある商品や、父の日商品「欲張り繕」等を、お客様にお楽しみいただきました。

みさきブランドでは、お客様のワクワク感を醸成する月替わり・週替わりキャンペーンを継続的に実施することで、より安定して収益性を確保できるブランドとしての成長を続けています。4月には、みさきブランドで従来からお客様にご好評をいただいている赤シャリの江戸前寿司を販売するテイクアウト専門店「持ち帰り寿司みさき」をオープン。また、店内で蒸したてのうなぎをご堪能いただける「みさきのふわうま」キャンペーンや、自慢のネタをお得にお楽しみいただける「みさきデー」や「超みさきデー」を開催しました。

以上の結果、京樽事業の売上収益は18,141百万円(前年同期比1.5%減)、セグメント損失は90百万円(前年同期セグメント損失566百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び資本の状況

総資産は、前連結会計年度末に比べ8,692百万円増加し、360,310百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ517百万円増加し、71,919百万円となりました。これは主に、棚卸資産が1,807百万円増加したこと等によるものであります。

非流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ8,175百万円増加し、288,392百万円となりました。これは主に、有形固定資産が6,950百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ5,752百万円増加し、284,712百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ5,209百万円減少し、76,282百万円となりました。これは主に、社債及び借入金が15,000百万円減少したこと等によるものであります。

非流動負債は、前連結会計年度末に比べ10,961百万円増加し、208,429百万円となりました。これは主に、社債及び借入金が11,505百万円増加したこと等によるものであります。

資本合計は、前連結会計年度末に比べ2,940百万円増加し、75,599百万円となりました。これは主に、自己株式の取得により7,500百万円減少、親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上により10,371百万円増加したこと等によるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ3,244百万円減少し、47,984百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、40,232百万円（前年同期比45.9%増）となりました。

これは主に、法人所得税の支払額が2,453百万円、営業債権及びその他の債権の増加が2,068百万円あった一方で、税引前四半期利益16,387百万円、減価償却費及び償却費22,616百万円、法人所得税の還付額1,030百万円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、15,718百万円（前年同期比12.4%増）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出が13,727百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、28,402百万円（前年同期比55.0%増）となりました。

これは主に、社債の償還による支出が20,000百万円、社債の発行による収入が19,494百万円、リース負債の返済による支出が14,802百万円、自己株式の取得による支出が7,504百万円、長期借入金の返済による支出が3,007百万円、配当金の支払額が2,598百万円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月10日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。なお、連結業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、景気動向等の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産</b>		
流動資産		
現金及び現金同等物	51,228	47,984
営業債権及びその他の債権	12,457	13,587
棚卸資産	3,965	5,771
その他の金融資産	1,389	1,850
その他の流動資産	2,363	2,726
流動資産合計	71,401	71,919
非流動資産		
有形固定資産	176,615	183,565
のれん	30,371	30,371
無形資産	56,332	56,743
持分法で会計処理されている投資	52	52
敷金及び保証金	14,257	14,777
その他の金融資産	417	653
繰延税金資産	1,490	1,496
その他の非流動資産	682	735
非流動資産合計	280,217	288,392
資産合計	351,619	360,310
<b>負債及び資本</b>		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	30,080	32,172
社債及び借入金	24,007	9,007
未払法人所得税	1,070	4,159
リース負債	17,901	19,568
その他の金融負債	1,362	1,694
引当金	3,136	3,639
その他の流動負債	3,935	6,044
流動負債合計	81,491	76,282
非流動負債		
営業債務及びその他の債務	23	23
社債及び借入金	64,952	76,457
リース負債	114,689	113,746
その他の金融負債	111	110
引当金	4,363	4,729
繰延税金負債	13,330	13,356
その他の非流動負債	—	9
非流動負債合計	197,468	208,429
負債合計	278,960	284,712
資本		
資本金	100	100
資本剰余金	15,676	15,575
利益剰余金	53,787	61,555
自己株式	△1,840	△9,156
その他の資本の構成要素	4,544	6,540
親会社の所有者に帰属する持分合計	72,268	74,614
非支配持分	391	985
資本合計	72,659	75,599
負債及び資本合計	351,619	360,310

## (2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
売上収益	218,914	264,667
売上原価	△98,041	△114,548
売上総利益	120,873	150,120
販売費及び一般管理費	△111,278	△130,710
その他の収益	1,085	521
その他の費用	△2,746	△2,590
営業利益	7,933	17,341
金融収益	279	569
金融費用	△1,060	△1,523
持分法による投資利益	52	—
税引前四半期利益	7,204	16,387
法人所得税費用	△1,302	△5,469
四半期利益	5,902	10,918
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	5,672	10,371
非支配持分	230	547
四半期利益	5,902	10,918
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	49.03	89.89
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	48.66	89.02

## (3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
四半期利益	5,902	10,918
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	160	1,693
純損益に振り替えられる可能性のある項目 合計	160	1,693
税引後その他の包括利益	160	1,693
四半期包括利益	6,062	12,610
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	5,824	12,017
非支配持分	238	594
四半期包括利益	6,062	12,610

## (4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

(単位: 百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の構 成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2022年10月1日時点の残高	100	15,692	47,579	△1,894	3,639	65,117	18	65,134
会計方針の変更による累積的影響額			766			766	2	767
会計方針の変更を反映した当 期首残高	100	15,692	48,345	△1,894	3,639	65,882	19	65,902
四半期利益			5,672			5,672	230	5,902
その他の包括利益					152	152	8	160
四半期包括利益合計	—	—	5,672	—	152	5,824	238	6,062
自己株式の処分		△27		54	△8	19		19
自己株式の取得				△0		△0		△0
新株予約権の失効		11			△11	—		—
株式に基づく報酬取引					359	359		359
配当金			△2,603			△2,603		△2,603
所有者との取引額合計	—	△16	△2,603	54	340	△2,225	—	△2,225
2023年6月30日時点の残高	100	15,676	51,414	△1,841	4,131	69,481	257	69,738

当第3四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

(単位: 百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の構 成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2023年10月1日時点の残高	100	15,676	53,787	△1,840	4,544	72,268	391	72,659
四半期利益			10,371			10,371	547	10,918
その他の包括利益					1,646	1,646	47	1,693
四半期包括利益合計	—	—	10,371	—	1,646	12,017	594	12,610
自己株式の処分		△130		184	△40	14		14
自己株式の取得		△2		△7,500		△7,502		△7,502
新株予約権の失効		31			△31	—		—
株式に基づく報酬取引					421	421		421
配当金			△2,603			△2,603		△2,603
所有者との取引額合計	—	△101	△2,603	△7,316	351	△9,670	—	△9,670
2024年6月30日時点の残高	100	15,575	61,555	△9,156	6,540	74,614	985	75,599

## (5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	7,204	16,387
減価償却費及び償却費	19,553	22,616
減損損失	2,562	1,369
金融収益	△279	△569
金融費用	1,060	1,523
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△262	109
敷金及び保証金の家賃相殺額	194	202
持分法による投資利益	△52	—
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△1,520	△2,068
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△661	△1,737
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	1,174	1,834
その他	91	3,341
小計	29,064	43,008
利息及び配当金の受取額	57	108
利息の支払額	△1,010	△1,461
法人所得税の支払額	△3,010	△2,453
法人所得税の還付額	2,468	1,030
営業活動によるキャッシュ・フロー	27,569	40,232
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11,511	△13,727
有形固定資産の売却による収入	650	10
無形資産の取得による支出	△839	△998
定期預金の預入による支出	△1,394	△2,038
定期預金の払戻による収入	—	1,790
敷金及び保証金の差し入れによる支出	△1,160	△1,115
投資有価証券の取得による支出	—	△235
その他	274	595
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,980	△15,718
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の償還による支出	—	△20,000
社債の発行による収入	—	19,494
長期借入金の返済による支出	△3,007	△3,007
リース負債の返済による支出	△12,748	△14,802
支払手数料の支払による支出	△4	△11
自己株式の取得による支出	△0	△7,504
新株予約権の行使による収入	19	14
配当金の支払額	△2,598	△2,598
その他	9	11
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18,329	△28,402
現金及び現金同等物の減少額	△4,740	△3,888
現金及び現金同等物の期首残高	50,637	51,228
現金及び現金同等物に係る換算差額	△167	644
現金及び現金同等物の四半期末残高	45,730	47,984

## (6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

本要約四半期連結財務諸表において適用する重要性がある会計方針は、以下を除き前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

当社グループは、第1四半期連結会計期間より、以下の基準を採用しております。

基準書	基準名	新設・改訂の概要
IAS第12号 (改訂)	法人所得税	繰延税金資産及び繰延税金負債の当初認識の免除規定に係る改定
IAS第12号 (改訂)	法人所得税	「国際的な税制改革-第2の柱モデルルール」を導入するために制定又は実質的に制定された税法から生じる法人所得税に関する開示

IAS第12号(改訂)「法人所得税」(2021年5月改訂)の適用により、取引時に同額の将来加算一時差異と将来減算一時差異を生じさせる取引に関する当初認識時の会計処理が明確化され、当該将来加算一時差異と将来減算一時差異について繰延税金負債及び繰延税金資産が連結財政状態計算書にそれぞれ認識されることとなります。

同基準の適用により、前連結会計年度の連結財務諸表を遡及修正しております。その結果、要約四半期連結財政状態計算書の前連結会計年度末において、「繰延税金資産」が937百万円、「繰延税金負債」が23百万円、「利益剰余金」が912百万円、「非支配持分」が3百万円それぞれ増加しております。

なお、同基準の適用による累積的影響額が反映されたことにより、要約四半期連結持分変動計算書において、前第3四半期連結累計期間の「利益剰余金」の期首残高が766百万円、「非支配持分」の期首残高が2百万円それぞれ増加しております。

## (セグメント情報)

## ①報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、主に事業別のセグメントから構成されております。

各報告セグメントに含まれる主要ブランドは以下のとおりであります。

国内スシロー事業：国内で展開する「スシロー」及びテイクアウト専門店

海外スシロー事業：海外で展開する「スシロー」及びテイクアウト専門店

京樽事業：株式会社京樽が運営する全ブランド(主要ブランド「京樽」・「回転寿司みさき」・「海鮮三崎港」)

その他事業：株式会社FOOD & LIFE INNOVATIONS が運営する全ブランド(主要ブランド「杉玉」)

## ②報告セグメント売上収益及び業績

当社グループの報告セグメントによる売上収益及び業績は以下のとおりです。

前第3四半期連結累計期間（自 2022年10月1日 至 2023年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計	調整額合計 (注) 2	連結合計
	国内シ ロー事業	海外シ ロー事業	京樽事業	その他事業			
売上収益							
外部収益	149,718	46,955	18,308	3,933	218,914	—	218,914
セグメント間収益	—	—	116	12	128	△128	—
計	149,718	46,955	18,423	3,945	219,042	△128	218,914
セグメント利益又は 損失(△は損失) (注) 1	2,730	4,126	△566	△249	6,041	1,892	7,933
その他の項目							
減価償却費及び償 却費	12,072	5,316	1,231	476	19,095	457	19,553
減損損失	2,095	103	165	199	2,562	—	2,562

(注) 1. セグメント利益又は損失は要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額1,892百万円には、主にセグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社損益が含まれております。

当第3四半期連結累計期間（自 2023年10月1日 至 2024年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計	調整額合計 (注) 2	連結合計
	国内シ ロー事業	海外シ ロー事業	京樽事業	その他事業			
売上収益							
外部収益	175,570	65,954	18,108	5,035	264,667	—	264,667
セグメント間収益	—	—	32	59	91	△91	—
計	175,570	65,954	18,141	5,094	264,758	△91	264,667
セグメント利益又は 損失(△は損失) (注) 1	10,399	5,077	△90	237	15,623	1,718	17,341
その他の項目							
減価償却費及び償 却費	12,197	7,955	1,297	530	21,979	637	22,616
減損損失	359	809	177	24	1,369	—	1,369

(注) 1. セグメント利益又は損失は要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益又は損失の調整額1,718百万円には、主にセグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社損益が含まれております。

## (販売費及び一般管理費)

販売費及び一般管理費の内訳は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
従業員給付費用	61,212	72,959
減価償却費及び償却費	19,505	22,563
水道光熱費	6,278	6,192
支払手数料	4,530	5,359
その他	19,752	23,638
合計	111,278	130,710

## (1株当たり利益)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)
親会社の普通株主に帰属する四半期利益(百万円)	5,672	10,371
基本的1株当たり四半期利益の計算に使用する普通株主に係る四半期利益(百万円)	5,672	10,371
希薄化後1株当たり四半期利益の計算に使用する普通株主に係る四半期利益(百万円)	5,672	10,371
基本的期中平均普通株式数(株)	115,679,653	115,374,194
希薄化後1株当たり四半期利益の計算に用いられた普通株式増加数(株)	872,939	1,129,861
希薄化後の期中平均普通株式数(株)	116,552,592	116,504,055
基本的1株当たり四半期利益(円)	49.03	89.89
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	48.66	89.02
希薄化効果を有しないため、希薄化後1株当たり四半期利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権3種類 (普通株式200千株)	新株予約権4種類 (普通株式313千株)

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。